

総合計画改訂 新旧対照表

第1編 計画改訂にあたって

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
第1章1 計画の意義	3段落目以降	修正	<p>本市では、昭和40年度以降、総合計画の策定・推進を通じて行政運営を進めてきました。令和3年度からは、「人がまちを育み、まちが人を育む チャレンジあふれる都市・はんだ」を将来の都市像に掲げた第7次総合計画（以降、本計画という。）に基づいてまちづくりを推進してきました。</p> <p>この間、わが国においては新型コロナウイルス感染症の蔓延から5類への移行、カーボンニュートラルやこどもまんなか社会など持続可能なまちづくりへの新たな課題への対応、生成AIなどの技術の進展など、まちづくりを取り巻く環境は変化しています。本市においては、半田病院の移転に伴う知多半島総合医療センターの建設・開院、JR半田駅周辺の整備、中心市街地の活性化など将来にわたって発展し続けるための取組が進められています。</p> <p>以上のような前提を踏まえ、本計画の改訂に際して、基本構想は将来人口など最新の数値に修正し、基本計画は社会経済情勢や計画の進捗状況等を踏まえ、令和8年度からの5年間で推進する施策を中心に後期基本計画として策定するものとします。</p>	<p>本市では、昭和40年度策定の第1次総合計画から平成22年度策定の第6次総合計画まで、6度に渡って総合計画を策定し、時代の変遷に応じたまちづくりの基本方針に基づく市政運営を図ってきました。</p> <p>第6次総合計画では、本格的な少子高齢化への対応や安心して暮らせる社会の再構築、自立した地方自治体の行財政運営が求められるなか、新しい公共の実現に向けて、市民協働を大きなテーマにまちづくりを進めてきました。</p> <p>この間、わが国においては少子高齢化や高度情報化、経済のグローバル化の進展に加え、地球規模での環境問題の顕在化や未曾有の感染拡大をもたらした新型コロナウイルス感染症による影響等、市民の暮らしを取り巻く環境は大きく変容しています。</p> <p>本市においても、人口減少、多文化共生など、今後の社会変化への対応に加え、地域経済の回復、新半田病院の建設、公共施設等の計画的な更新や長寿命化、定住人口の確保など、市全体で取り組むべき課題を抱えています。</p> <p>そこで、本市の普遍的な都市像である「健康で明るく豊かなまち」づくりを進めるため、新たな10年間のまちづくりを戦略的に実施するための市政の運営指針として、半田市総合計画条例に基づき、新たな総合計画（第7次総合計画）を策定しました。</p>	<p>計画策定以降の社会情勢の変化を踏まえた内容に修正</p>
第1章2 改訂にあたって重視する視点	タイトル	修正	<p>改訂にあたって重視する視点</p>	<p>策定にあたっての基本的な視点</p>	<p>改訂にあたって重視する点を記載するため、タイトルを変更</p>

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
第1章2 改訂にあたって重視する視点	本文	修正	<p>本計画は、①社会経済情勢の変化を的確に捉えた計画 ②本市の特性を活かした計画 ③分かりやすい計画の視点で策定したことを踏まえ、本計画の改訂にあたっては、次のことを重視しました。</p>	<p>第7次総合計画は、3つの基本的な視点で策定しました。 ①社会経済情勢の変化を的確に捉えた計画 アンケート調査やまちづくり市民会議等による市民ニーズの把握はもちろんのこと、人口減少社会を見据えた地方創生や持続可能な社会の実現等、本市を取り巻く大きな環境の変化を踏まえ、それらを的確に捉えた計画。 ②本市の特性を活かした計画 歴史・文化、自然、産業、市民力のほか、行政機関や都市機能、教育機関などが集積するといった本市の持つ地域資源や特性を踏まえ、まちの魅力の向上と活性化を図りながら、持続的な発展を目指す計画。 ③分かりやすい計画 総合計画で描く市の将来像の実現に向け、行政と市民等が共に取り組み、互いに進捗を確認し合えるよう、構成（施策体系）や表現が分かりやすい計画。 総合計画は市の最上位計画として、10年間の施策の方向性を示すもので、個別の具体的な事業については、各分野の個別計画や3か年実施計画当で位置付ける。</p>	<p>改訂にあたって重視する視点として「選ばれるまち」について記載するにあたり、策定の基本的な視点の記述は項目のみに留め、改訂において重視する点を目立つように修正</p>

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
第1章2 改訂にあたって重視する視点	(新規)	追加	<p><u>「選ばれるまち」を目指して</u></p> <p>●本市が今後も持続的に市民サービスを提供していくためには、まちづくりの財源である<u>税収や労働力の不足が生じることがないようにしなければなりません。そのためには、子育て世代にとって「選ばれるまち」になることが求められます。</u></p> <p>●本市では人口減少問題に対応するため、令和6年度から本市独自のテーマとして「<u>はたらく親を応援するまち</u>」を掲げてきました。現在の働く世代と次の働く世代である子どもたちを未来の半田市を担う大切な存在と捉え、<u>子育て支援を始めとする施策の充実にチャレンジしています。</u></p> <p>●「<u>はたらく親を応援するまち</u>」は、<u>教育や子育て支援に限らず、就労・職場環境の整備など多角的な視点で取組を進めることにより、はたらく親だけでなく、全ての市民へ持続可能なサービスを提供することができる</u>とともに、<u>次世代を担う子どもたちが、自らの夢に向かって成長できる環境を整え、市民が幸せと暮らしやすさを実感できるまちづくりにつながります。</u></p> <p>●<u>上記の視点を重視した施策・事業の展開を図ることで、子育て世代や未来の半田市を担う世代に選ばれる魅力的なまちとなり、すべての市民サービスが持続可能で、住みたい、住み続けたいと思われるまちの実現につながります。</u></p>	なし	改訂にあたって重視する視点として、「 <u>選ばれるまち</u> 」「 <u>はたらく親を応援するまち</u> 」に関する記載を追加
第2章 計画改訂の背景 1半田市を取り巻く社会経済情勢	1人口構造の変化	修正	<p>わが国では、人口減少社会に突入しており、少子高齢化が進む一方、<u>外国籍市民等（外国にルーツを持つ市民を含む）が増加するなど、人口の構造が急速に変化するなか、こども家庭庁が設立され、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組が進められています。</u></p>	<p>わが国では、人口減少社会に突入しており、少子高齢化が進む一方、<u>外国籍市民等（外国にルーツを持つ市民を含む）が増加するなど、人口の構造が急速に変化しています。</u></p>	計画策定以降の社会情勢の変化を踏まえた内容に修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
同上	3都市の魅力や持続性の向上への要求	修正	わが国では、 将来 、リニア中央新幹線の開通が予定されており、	わが国では、 近い 将来、リニア中央新幹線の開通が予定されており、	リニア中央新幹線の開通が延期していることに伴い修正
同上	4公共施設の再編・再構築と災害への備え	修正	都市基盤や公共施設は、 建設費用のみ ならず、管理の費用が継続的に発生します。 少子高齢化や人口減少など長期的な視野に立ち、総合的かつ計画的な再編・再構築に取り組む必要があります。 さらに、南海トラフ地震などの自然災害リスクへの備えや深刻化する気象現象や気候変動に対応するため、 防災拠点としての機能強化や高温対策なども重要です。 今後は、多様化する課題に対応しながら 強靱な都市基盤の整備が求められます。	都市基盤や公共施設は、 建設時のみ ならず、管理の費用が継続的に発生します。 また、大規模地震や近年頻発している台風・集中豪雨などによる自然災害に対して、強靱な都市を形成することも重要です。 本市においても、 比較的早期に整備した雨水排水対策施設、道路、橋梁などの都市基盤施設や各種公共建築物について、人口減少など長期的な視野に立ち、災害への備えも考慮した、総合的かつ計画的な再編・再構築に取り組む必要があります。	計画策定以降の気象状況の変化を踏まえて修正
同上	(旧6) 新型コロナウイルスで変わる社会、新しい価値観への対応	削除	なし	令和2年（2020年）、世界がその猛威に直面した新型コロナウイルス感染症は、わが国においても感染が拡大し、全国的な外出自粛の要請や小中学校の臨時休業を始め、緊急事態宣言の発令、緊急経済対策の実施など社会全体に大きな影響を及ぼしました。 新型コロナウイルスとの共存を余儀なくされる「withコロナ」の時代のなかで、地域経済の再構築、ICT活用の加速化、ライフスタイルや価値観の変化など、時代に即した柔軟な対応が必要です。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、項目ごと削除
第2章 計画改訂の背景 2半田市のまちづくりの主要課題	2子育て世代の定住促進 2番目	修正	周辺市町と比較してより高いレベルにある本市の子育て環境を活かし、 「はたらく親を応援するまち」を前面に押し出したプロモーションを行うことで、 子育て世代の転入・定住を促進することが必要です。	周辺市町と比較してより高いレベルにある本市の子育て環境を活かし、 積極的にプロモーションすることで、 子育て世代の転入・定住を促進することが必要です。	今後「はたらく親を応援するまち」を意識したプロモーションを実施していく必要があるため、表現を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
同上	3歴史・文化資源を活用した都市の魅力アップと発信	修正	祭礼や 醸造・発酵文化 、新美南吉などを始めとした 本市が誇る歴史・文化資源 を活用した魅力のより一層の向上と新たな地域資源の掘り起こし、市民による新たな文化の創造が求められます。	祭礼や 醸造文化 、新美南吉を 始めとした本市の誇る歴史・文化資源 を活用した魅力のより一層の向上と新たな地域資源の掘り起こし、市民による新たな文化の創造が求められます。	全体の表現として、醸造・発酵に統一するため、文言を追加
同上	4地域の産業力の強化 1番目	修正	“ヒト・モノ”の交流拠点である中部国際空港や産業が集積する三河地域との交通ネットワークの強化、衣浦港の活用、需要に応じた産業用地の整備に加え、市内企業の経営力向上や 円滑な事業承継を促進し 、社会経済活動の再興と再活性化を図ることが求められます。	“ヒト・モノ”の交流拠点である中部国際空港や産業が集積する三河地域との交通ネットワークの強化、衣浦港の活用、需要に応じた産業用地の整備に加え、 コロナ禍における「新しい生活様式」などの環境の変化に対応しつつ 、市内企業の経営力向上、社会経済活動の再興と再活性化を図ることが求められます。	・計画策定以降、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、関連する文言を削除 ・人口減少が深刻化するなか、担い手の確保等、事業承継が課題となっているため、表現を修正
同上	6安心・安全なまちづくりの推進 2番目	修正	大規模地震や集中豪雨などの自然災害からの被害を抑制するための防災インフラの整備、被災後の復旧・復興に向けた備え、地域が主体となった防災・減災活動の充実が課題となっています。	また 、大規模地震や集中豪雨などの自然災害からの被害を抑制するための防災インフラの整備、被災後の復旧・復興に向けた備え、地域が主体となった防災・減災活動の充実が課題となっています。	他の項目と形式を合わせるため、「また、」を削除
同上	7持続可能な都市機能・社会資本の再構築	修正	鉄道で分断された東西交通を中心に市内全域にわたり道路交通の円滑化を図るとともに、幹線道路及び歩行空間の整備による ウォークラブルな空間と 、公共交通体系の改善による移動しやすい環境の確保が求められます。	鉄道で分断された東西交通を中心に市内全域にわたり道路交通の円滑化を図るとともに、幹線道路及び歩行空間の整備による 中心市街地の利便性向上と 、公共交通体系の改善による移動しやすい環境の確保が求められます。	基本計画の記載に合わせるため、文言を修正
同上	10主体間の連携促進	修正	医療・地域福祉、地域防災・防犯、観光交流等に関する様々な市民団体等との連携強化、幅広い分野における民間の アイデアやノウハウ、生成AIなど最新技術 の活用を図るとともに、知多地域のみならず三河地域を含めた広域連携による地域課題解決に向けた取組を進めることが課題となっています。	医療・地域福祉、地域防災・防犯、観光交流等に関する様々な市民団体等との連携強化、幅広い分野における民間の アイデア・ノウハウ・技術 の活用を図るとともに、知多地域のみならず三河地域を含めた広域連携による地域課題解決に向けた取組を進めることが課題となっています。	A Iなどの最新技術が発展しており、それらを活用した行政サービスの向上や行政業務の効率化を進めることが求められているため、表現を修正

総合計画改訂 新旧対照表

第2編 基本構想

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
第2章	将来人口	修正	<p>令和7年以降の人口動態も勘案して推計したところ、本市の人口は、本計画の期間中（令和3～12年度）は、緩やかに減少しながら、令和12年（2030年）には112,392人になると見込まれます。</p> <p>今後、本計画の推進を通じて、働く場づくり、子育て・子育ての支援や教育の充実、住環境の向上を図るとともに、住みやすいまちとしてのPRを展開することにより、多くの若い世代を中心に定住を促します。</p> <p>以上のことから、政策人口を加えた計画目標人口を113,000人とします。</p>	<p>平成27年以降の人口動態も勘案して推計したところ、本市の人口は、令和2年にかけて一旦増加するものの、本計画の期間中（令和3～12年度）は、再び減少に転じ、緩やかに減少しながら、令和12年（2030年）には116,504人になると見込まれます。</p> <p>今後、本計画の推進を通じて、働く場づくり、子育て・子育ての支援や教育の充実、住環境の向上を図るとともに、住みやすいまちとしてのPRを展開することにより、多くの若い世代を中心に定住を促します。</p> <p>以上のことから、政策人口を加えた計画目標人口を118,000人とします。</p>	最新の人口動態を踏まえた数値とするため、令和6年度に改訂した「まちひとしごと創生総合戦略の人口ビジョン」に沿って修正
同上	令和12年（2030年）の目標人口	修正	113,000人	118,000人	同上
同上	グラフ、写真	修正	令和2年まで実績値とし、令和7・12年の数値を修正	平成27年まで実績値	同上
第4章 3基本的な方向	第1章 1育ちの支援	修正	安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援する体制の充実と、教育保育施設の老朽化対策やICTを活用した教育環境の整備などを進めます。	安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援する体制の整備と、教育保育施設の老朽化対策やICTを活用した教育環境の整備などを進めます。	体制の整備ができたため、文言を修正
同上	第2章 1観光・産業	修正	今後の人口減少に伴う地域経済縮小への対応として、観光振興による地域活性化が不可欠です。	コロナ禍や今後の人口減少に伴う地域経済縮小への対応として、観光振興による地域活性化が不可欠です。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、文言を削除
同上	第3章 3医療体制	修正	知多半島医療圏で唯一の三次救急を提供する知多半島総合医療センターは、隣接する知多半島りんくう病院との診療統合・機能分化を進め、より高度急性期医療に特化するとともに、地域医療機関との役割分担、連携の中心的役割を担います。	知多半島医療圏で唯一の三次救急を提供する半田病院は、移転新築に伴い、隣接する常滑市民病院との診療統合・機能分化を進め、より高度急性期医療に特化するとともに、地域医療機関との役割分担、連携の中心的役割を担います。	知多半島総合医療センターの建設が完了したため、病院名等を修正

総合計画改訂 新旧対照表

第3編 基本計画

修正箇所		修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	新	旧	
施策の体系 第3章基本 施策3	単位施策	修正	<p>知多半島総合医療機構</p> <p>半田病院</p>	半田病院の地方独立行政法人化に伴い、修正

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	1-1
基本施策名	育ちの支援
中心所管課	学校教育課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	(旧1番目)	削除	なし	必要な支援を切れ目なく提供するために、相談窓口の統合が必要です。	相談窓口の整備ができたため削除
個別施策(タイトル)	単位施策1 個別施策①	修正	切れ目のない 支援体制の充実	切れ目のない体制の 整備	体制の整備ができたため、文言を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	子育ての楽しさアンケート グラフ期間 R5	子育ての楽しさアンケート グラフ期間 H30	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策1 5番目	追加	小学校児童放課後等居場所づくり事業	なし	放課後等の居場所づくりを整備する事業を新設したため追加
グラフ、写真	単位施策2	修正	幼稚園園児数(認定こども園短時間利用 児含む) グラフ期間 R2~R7	幼稚園園児数(認定こども園短時間利用 児含む) グラフ期間 H27~R2	グラフを最新のデータに更新
グラフ、写真	単位施策2	修正	保育園園児数(認定こども園長時間利用 児含む) グラフ期間 R2~R7	保育園園児数(認定こども園長時間利用 児含む) グラフ期間 H27~R2	グラフを最新のデータに更新
個別施策(本文)	単位施策3 個別施策①	修正	すべての子どもが それぞれの「幸せ」について考え 、個性を活かした「生きる力」を身に付けられるよう、キャリア教育を基盤とし、学習指導要領等に基づいた教育活動の実施により確かな学力・豊かな心・健康な体を培い、一人ひとりの個性や可能性を伸ばします。	すべての子どもが個性を活かした「生きる力」を身に付けられるよう、キャリア教育を基盤とし、学習指導要領等に基づいた教育活動の実施により確かな学力・豊かな心・健康な体を培い、一人ひとりの個性や可能性を伸ばします。	「幸せになるための教育」に関する記述を追加
個別施策(本文)	単位施策3 個別施策②	修正	いじめや不登校等の対策 、障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもへの支援など、子どもたちの不安や悩みを解消できる体制を整え、個に応じた教育の充実を図ります。	いじめ・不登校対策 、障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもへの支援など、子どもたちの不安や悩みを解消できる体制を整え、個に応じた教育の充実を図ります。	いじめと不登校は分けて整理する必要があるため、文言を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
グラフ、写真	単位施策3	修正	児童生徒数 グラフ期間 R2～R7	児童生徒数 グラフ期間 H27～R2	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策3	修正	いじめや不登校等対策事業	いじめ・不登校対策事業	いじめと不登校は分けて整理する必要があるため、事業名を修正
チャレンジ2030	(旧1番目)	削除	なし	相談窓口を統合化し、子どもや子育て家庭に必要な支援を切れ目なく提供する体制を整備します。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧2番目)	削除	なし	普段は放課後児童クラブ等の子どもの預かり事業を利用していないものの、長期休暇中は日中の子どもを預かってほしいというパート勤務等の保護者のニーズに応える、長期休暇中のみの子どもの預かり事業を実施します。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧5番目)	削除	なし	キャリア教育について、コミュニティ・スクール制度などを活かし、これまでの学校・行政の取組に加え、保護者・地域の協力を促し推進力を高めます。	実施中(一部実施済)のため削除
チャレンジ2030	(旧6番目)	削除	なし	個別の支援を要する子どもたちについて、インクルーシブ教育などの新たなニーズにも柔軟に対応するとともに、就労、高等学校への就学も考慮し、関係機関との連携体制を着実に構築することで切れ目のない支援の充実を図ります。	実施中(一部実施済)のため削除
チャレンジ2030	(旧7番目)	削除	なし	日本語を話すことができない外国籍児童等に、初期の日本語指導や学校生活指導を一定期間集中的に行う事業を実施します。	実施中(一部実施済)のため削除
チャレンジ2030	(旧8番目)	削除	なし	グローバル化の進展を踏まえ、日本の伝統・文化・歴史などの理解を深めるとともに、外国語教育の充実やICTの活用により、外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成します。	実施中(一部実施済)のため削除

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	2 番目	修正	放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一 <u>地域共創センター</u> 」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。	放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一 <u>生涯学習施設</u> 」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。	生涯学習施設機能を持ち合わせた、地域交流施設の整備を進めていく方針となったため修正
チャレンジ2030	3 番目	追加	<u>保育園等公民連携更新計画に基づき、公立保育園の民営化を進めます。</u>	なし	保育園等公民連携更新計画の前期間に予定されている民営化について、補助金の活用を図りながら速やかに進めるため追加
チャレンジ2030	4 番目	追加	<u>小学校の水泳指導について、時期や天候に左右されない授業運営とインストラクターによる専門性の高い指導が可能となる屋内温水プールを活用した水泳授業実施校の拡大に取り組みます。</u>	なし	水泳授業の年間時間確保とインストラクターによる専門性の高い水泳指導により、健やかな心と体の育ちを支援するため追加
チャレンジ2030	5 番目	追加	<u>子どもたちが学校生活でストレスや不安を感じたときに安心して過ごせる校内の居場所を整え、心穏やかに学びの場に戻るよう支援します。</u>	なし	不登校抑制の一助となり、子どもたちが安心・安全に楽しく充実した学校生活を送れるよう追加
関連個別計画	4 番目	追加	<u>教育大綱</u>	なし	大綱の位置付けを整理したため追加

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	1-2
基本施策名	学びの応援
中心所管課	生涯学習課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
基本成果指標	2 番目	修正	文化芸術を鑑賞した市民又は創作活動等に参加した市民の割合 R12… 85%	文化芸術を鑑賞した市民又は創作活動等に参加した市民の割合 R12… 55%	既に目標値を達成しているため、上方修正
現状と課題	2 番目	追加	働き方や生き方の多様化、技術革新など急速な社会の変化に対応するため、リカレント教育（学び直し）の必要性が高まっています。	なし	社会情勢の変化によりリカレント教育の必要性が高まっているため、文言を追加
現状と課題	5 番目	修正	各機関との連携を強化し、ボランティア団体をはじめとした読書推進の担い手を確保しながら、乳幼児期からの継続的な読書支援が必要です。	生活環境の変化などにより活字離れが進んでおり、各機関が連携した乳幼児期からの継続的な読書支援が必要です。	読書推進活動を担っているボランティアの高齢化に伴い会員の減少が課題となってきたため、表現を修正
現状と課題	7 番目	修正	市の誇る文化や文化財を保存・継承するための資金調達 や担い手の確保が困難 になっています。	市の誇る文化や文化財を保存・継承するための資金調達、 人材確保が困難 になっています。	単位施策2 個別施策②と表現を合わせるため修正
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	地域や教育機関、企業等とともに、誰もが学びたいときに学べる環境を整え、その成果をまちづくりに活かす仕組みをつくります。また、学びのきっかけや学び直しにつながる 機会の拡充と情報発信により 、市民の学び意欲を高めます。	地域や教育機関、企業等とともに、誰もが学びたいときに学べる環境を整え、その成果をまちづくりに活かす仕組みをつくります。また、学びのきっかけや学び直しにつながる 情報発信し 、市民の学び意欲を高めます。	情報発信にとどまらず機会の拡充も進めるため、表現を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	【写真】あかちゃんとしょかんの様子	【写真】読み聞かせ会	写真を最新のものに更新
リーディング事業	単位施策1 2 番目	修正	読書活動推進事業	子ども 読書活動推進事業	サービス対象が子どもに限定されないことや読書推進については今後も継続して取り組むため、「子ども」の文言を削除し「読書活動推進事業」に修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策②	修正	市民の財産である文化財を保存・継承するため、 資金調達 と担い手育成を支援します。また、郷土資料の収集、調査、保存に加え、親しみやすい形で情報を発信することにより、市民の文化的教養や保護意識を高めるとともに、 文化財の活用を推進します。	市民の財産である文化財を保存・継承するため、担い手育成を支援します。また、郷土資料の収集、調査、保存に加え、親しみやすい形で情報を発信することにより、市民の文化的教養や保護意識を高めます。	・現状と課題の7番目に対応するため、文言を追加 ・文化財の活用についても推進していく必要があるため、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策③	修正	半田の特色である山車や 醸造・発酵 などの歴史・文化、全国に知られる新美南吉文学などへの市民の愛着を高めます。	半田の特色である山車や 醸造 などの歴史・文化、全国に知られる新美南吉文学などへの市民の愛着を高めます。	全体の表現として、醸造・発酵に統一するため、文言を追加。
グラフ、写真	単位施策2	修正	文化施設来館者数 グラフ期間 R2～R6	文化施設来館者数 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策2 1番目	追加	音楽のあるまちづくり事業	なし	事業を新設したため追加
リーディング事業	単位施策2 2番目	追加	文化芸術普及推進事業	なし	事業を新設したため追加
チャレンジ2030	(旧1番目)	削除	なし	学びを提供したい市民と学びを受けたい市民の出会いの場をコーディネートし、幅広い世代間の学びの交流を促します。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧2番目)	削除	なし	市民が芸術や文化を発表する機会をまちなかで展開し、日常の中に芸術文化を感じられる仕組みをつくります。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧3番目)	削除	なし	ICTの活用や外国語資料の収集等、障がいのある方や高齢者、外国籍市民等にも配慮した図書館サービスを導入し、読書や情報収集の機会を拡充します。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧4番目)	削除	なし	破損や劣化の恐れのある図書、古文書を始めとする郷土資料について、デジタル化等による保存を行うとともに、ICTを展示等へ活用します。	実施済みのため削除

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	(旧7番目)	削除	なし	文化財の保存・継承の担い手及び資金確保に向け、体験型クラウドファンディング等、新たな枠組みの構築に取り組みます。	愛知県が山車組を対象に保存伝承に係るクラウドファンディング制度を構築したことにより、そちらに利用誘導することしたため削除
チャレンジ2030	1番目	追加	中高生等の身近な地域での学習の機会を確保するため、公共施設や民間施設などに学習スペースを整備します。	なし	市民から身近な地域における学習スペースの開設ニーズが高いため追加
チャレンジ2030	2番目	追加	中学生の放課後活動として、地域と連携し、多様な活動に親しむ機会を拡充します。	なし	部活動改革により、休日の地域の受け皿を整えているなかで、子どもの選択肢を増やすため。また、今後平日の部活動の廃止が危惧されるなかで、受け入れる団体の確保が必要となるため追加
チャレンジ2030	3番目	追加	図書館と学校の連携により地域開放型の学校図書館の整備を目指し、地域における読書活動の拠点をつくり、市民の学びを支えます。	なし	子どもが徒歩で通える距離である学校に図書館拠点を整備することで、市民の誰もが図書館を利用できるようにするため追加
関連個別計画	2番目	追加	文化芸術推進計画	なし	新たに策定した計画のため追加
関連個別計画	4番目	追加	福祉文化会館長寿命化計画	なし	新たに策定した計画のため追加
関連個別計画	6番目	修正	図書館運営基本計画	子ども読書活動推進計画	子ども読書活動推進計画は、令和8年度から図書館運営基本計画に統合するため修正
グラフ、写真	写真	追加	【写真】旧中荻家住宅	なし	文化財の利活用を推進する施設として写真を追加
グラフ、写真	写真	修正	【写真】まちなかでアート 参加型ライブペイントの様子	【写真】市民参加型コンテンポラリーダンス	写真を最新のものに更新

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	2-1
基本施策名	観光・産業
中心所管課	産業課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
基本成果指標	2番目	修正	企業立地件数（累計） R12… 19 件	企業立地件数（累計） R12… 26 件	石塚工業団地の分譲時期が後ずれし、令和12年度までに立地できないため、下方修正
基本成果指標	3番目	修正	新たに集積した農地の面積（累計） R12… 80 ha	新たに集積した農地の面積（累計） R12… 45 ha	既に目標値を達成しているため、上方修正
基本成果指標	5番目	修正	製造品出荷額等 R12… 13,000 億円	製造品出荷額 R12… 8,000 億円	・既に目標値を達成しているため、上方修正 ・加工や修理も含んだ数値であるため、「等」を追加
現状と課題	2番目	追加	<u>観光ニーズの多様化を的確に捉えた観光施策の展開が必要です。また、広域連携のスケールメリットを活かした観光振興の強化が必要です。</u>	なし	計画策定時、大きく影響していた新型コロナに関する文言は、当時ほどの影響がないため削除し、現状に合わせた表現に修正
現状と課題	3番目	追加	<u>インバウンド需要を取り込むため、国内外の観光客の動向を注視し、受入体制の強化や効果的なPRが必要です。</u>	なし	・インバウンド需要が高まっているなか、本市においてもインバウンド消費を獲得する必要があるため、表現を修正 ・リニア中央新幹線の開通が先行き不透明のため、文言を削除
現状と課題	旧2番目	削除	なし	<u>コロナ禍の影響で落ち込んだ地域経済の回復を支えるためにも、観光客を早期に呼び込む取組が求められます。</u>	現状に合わせた表現にするため、項目旧②・旧③・旧④を項目②③に整理・修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	旧3番目	削除	なし	<u>インバウンド誘客の強化を図るとともに、今後の多様な観光ニーズに対応するため、広域連携のスケールメリットを活かした観光振興の強化が必要です。</u>	現状に合わせた表現にするため、項目旧②・旧③・旧④を項目②③に整理・修正
現状と課題	旧4番目	削除	なし	<u>リニア中央新幹線開通による、国内外の観光客の動向に応じた観光施策の展開が必要です。</u>	リニア中央新幹線の開通が先行き不透明のため、削除
現状と課題	4番目	修正	市内企業の事業拡大及び新規企業が立地する工業用地が不足しているため、新たな工業団地の整備が必要です。 <u>また、企業誘致にあたり他市町との差別化、優位性を確保するため、新たな支援制度の創設が必要です。</u>	市内企業の事業拡大及び新規企業が立地する工業用地が不足しているため、新たな工業団地の整備が必要です。	企業誘致にあたり、他市町との差別化・優位性を確保するため、新たな支援制度が必要であることを追加
現状と課題	5番目	修正	企業活動の支援のため、臨海部の慢性的な交通渋滞の解消に向け、 <u>道路改良などの</u> インフラ整備が必要です。	企業活動の支援のため、臨海部の慢性的な交通渋滞の解消に向け、 <u>道路・港湾施設など</u> インフラ整備が必要です。	交通渋滞解消の取組みとしては、既存道路の改良がメインのため、表現を修正
現状と課題	6番目	追加	<u>人口減少や高齢化、物価の高騰などにより</u> 農業の経営環境が厳しくなっています。農業経営体への支援のほか、 <u>担い手の創出、交流人口の増加や地産地消の推進</u> が必要です。	<u>後継者不足などにより</u> 農業の経営環境が厳しくなっています。 <u>担い手の確保</u> や農業経営体への支援が必要です。	農業分野をとりまく社会情勢の変化や実情にあわせるため、表現を修正
現状と課題	9番目	修正	<u>物価高騰、キャッシュレスインフラの急速な拡大、働き方改革、経費削減や人材確保など、地域での事業継続を支援できるような環境づくり</u> が必要です。	<u>コロナ禍による深刻な経営状態の悪化を始め、経営者の高齢化や後継者不足、人手不足等、市内中小企業が抱える課題解決に向けた支援</u> が必要です。	計画策定時、大きく影響していた新型コロナに関する文言については、当時ほどの影響がないため削除し、物価高騰やデジタルの普及など社会情勢の変化や実情に合わせた内容に修正
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を始めとする、本市ならではの歴史・文化に根差した観光資源の魅力向上を図ります。また、 <u>本市の歴史・文化を象徴する醸造・発酵文化、関連する豪商邸宅や醸造蔵等の文化財建物を活用した観光振興を推進し</u> 、観光客の誘客、市内の回遊性向上、地域経済の活性化を図ります。	「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を始めとする、本市ならではの歴史・文化に根差した観光資源の魅力向上を図ります。また、 <u>JR武豊線の産業遺産など、新たな資源の掘り起こし、商業者等と連携した食の観光の推進等により</u> 、観光客の誘客、市内の回遊性向上、地域経済の活性化を図ります。	JR武豊線だけでなく、それらも含めた歴史・文化を観光資源としてPRすること、また、本市の歴史・文化を象徴する醸造・発酵にまつわる建物やストーリーを活用し、誘客プロモーションを行うため、表現を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	観光入込客数 グラフ期間 <u>R2～R6</u>	観光入込客数 グラフ期間 <u>H27～R1</u>	グラフを最新のデータに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策②	修正	立地促進のための優遇措置により 企業の新規立地及び 事業拡大を支援するほか、未利用地の情報提供により企業の誘致を図ります。また、企業が円滑に業務を遂行できるよう企業と連携し、関係機関への要望により、臨海部の工業団地周辺環境改善を図ります。	立地促進のための優遇措置により 既存企業 の事業拡大を支援するほか、未利用地の情報提供により 新たな 企業の誘致を図ります。また、企業が円滑に業務を遂行できるよう企業と連携し、関係機関への要望により、臨海部の工業団地周辺環境改善を図ります。	・既存企業の事業拡大だけでなく、市外企業の新規立地も優遇措置の対象であるため修正 ・未利用地の情報提供による企業の誘致は新たな企業に限定するものではないため、「新たな」を削除
リーディング事業	単位施策2 1番目	修正	石塚地区 工業団地 整備 事業	工業団地 造成 事業	工業団地を造成する地区や整備方針が固まったため、事業名を修正
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策①	修正	新規就農者の確保や後継者の育成、 農業のDX化を支援するとともに、営農規模拡大を目指す農業経営体の収益力向上を支援し、継続的かつ安定的な農業経営を促進します。また、6次産業化や「にこもぐ」の活動を通じ、地域とつながり、交流を深める中で、農業の価値を高め、経済的な自立を目指します。	新規就農者の確保や後継者の育成を支援するとともに、営農規模拡大を目指す農業経営体の収益力向上を支援して、継続的かつ安定的な農業経営を促進します。	農業のDX化や6次産業化、「にこもぐ」に関する記述を追加
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策③	修正	市民の農業に対する理解向上のため、食の安心・安全及び地産地消の推進や、知多牛などの地産品をPRし、農業を身近に感じる機会を創出 するとともに、交流人口の増加を目指した道の駅等の整備について検討します。 また、畜産の振興を進めるとともに、ふん尿による臭気の軽減を図り、資源循環型農業の促進に取り組みます。	市民の農業に対する理解向上のため、食の安心・安全及び地産地消の推進や、知多牛などの地産品のPRを通じて、農業を身近に感じる機会を創出 します。 また、畜産の振興を進めるとともに、ふん尿による臭気の軽減を図り、資源循環型農業の促進に取り組みます。	道の駅等の整備に関する表現を追加

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
グラフ、写真	単位施策3	修正	認定就農者数・認定新規就農者数 グラフ期間 R2～R6 資料： 産業課	認定就農者数・認定新規就農者数 グラフ期間 H27～R2 資料： 経済課	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策3 1番目	追加	6次産業化農業者支援プロジェクト事業	なし	6次産業化を推進する事業を新設したため追加
個別施策（本文）	単位施策4 個別施策②	修正	地域商業の恒常的なにぎわい創出のため、時代に即した魅力ある個店づくりや商店街の活性化を推進します。また、関係機関と連携し、 関係人口の拡大を意識した仕掛けづくりを行い 、魅力ある中心市街地の形成に向けた取組を推進します。	地域商業の恒常的な賑わい創出のため、時代に即した魅力ある個店づくりや商店街の活性化を推進します。また、関係機関と連携し、魅力ある中心市街地の形成に向けた取組を推進します。	地域や市民団体によるイベントが増え、中心市街地への来場者も増えたが、今後も新しく関わる人を増やすことが必要のため、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策4 個別施策③	修正	半田商工会議所や「STATION Ai」などと連携するとともに、「ココロリン」などを活用し、就業・就労環境の整備と企業側の人材確保につながるよう取り組みます。また、市内高校等への地元企業PRや「はんだオープンファクトリー」を充実していくことで、若者が地元企業と関わり、市内の就業・就労につなげます。	誰もがいきいきと働くことができるよう、関係機関と連携し、若年者・外国籍市民等の就業支援や雇用環境の整備、多様な働き方への理解促進などにより、就業・就労環境の向上を図ります。	既存事業所へ就業・就労できるような支援を展開してきたが、産業人材育成や産業の創設も併せて実施していくために、ココロリンやオープンファクトリーの取組を追加し、表現を修正
グラフ、写真	単位施策4	修正	製造業従業者数 グラフ期間 R2～R6 資料： 経済構造実態調査、工業統計調査、経済センサス	製造業従業者数 グラフ期間 H28～R1 資料：工業統計調査、経済センサス	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策4 3番目	追加	中心市街地活性化事業	なし	中心市街地の活性化を推進する事業を新設したため追加
グラフ、写真	単位施策4	追加	【写真】ココロリン（半田市創造・連携・実践センター）	なし	個別施策の記載にココロリンに関する内容を盛り込んだため、イメージが伝わる写真を追加

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	1 番目	修正	<u>「醸造・発酵のまち」としての認知度向上のため、事業者と連携し、醸造・発酵が感じられる商品開発に取り組みます。</u>	<u>尾州早すしを提供できる店舗の増加や、お土産商品の開発を図り、半田市のグルメとしての寿司の認知度を向上させます。</u>	尾州早すしを取り扱う店舗が減少していることや新たに扱う店舗が無いことを踏まえ、寿司に限定したPRではなく、歴史・文化を含めた醸造・発酵を広くPRしていくため修正
チャレンジ2030	2 番目	修正	<u>半田赤レンガ建物の屋内外の未使用・低利用スペースの活用を図ります。</u>	<u>半田赤レンガ建物の2階や屋外スペースの活用を図ります。</u>	半田赤レンガ建物の常時開設から10年を迎え、指定管理者や関係団体と魅力ある敷地全体の活用方法等を協議していくため修正
チャレンジ2030	3 番目	修正	<u>インバウンド誘客も見据え、事業者等と連携し、宿泊施設や体験コンテンツなどの整備を推進します。</u>	<u>インバウンドの誘客を見据え、市内店舗におけるキャッシュレス化やメニュー表の多言語化を推進し、受け入れ環境の充実を図ります。</u>	インバウンドも含めた国内外の旅先となるよう、PRと受入体制を整備していくため修正
チャレンジ2030	5 番目	修正	<u>先端素材や航空宇宙関連など次世代につながる産業や自動車関連など愛知県内に集積する産業の誘致を推進します。</u>	<u>ロボットや先端素材関連など次世代につながる産業の誘致を推進します。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙関連産業や自動車関連産業を中心にあらゆる産業を企業誘致の対象としているため修正 ・次世代につながる産業は「ロボット」に限らないため、文言を削除

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	(旧8番目)	削除	なし	<u>第6次産業化を希望する農業者への支援やブランド化の推進に加え、知多牛を提供できる店舗数や販路拡大を支援し、農業の魅力と収益力の向上を図ります。</u>	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧9番目)	削除	なし	<u>地域の創業を促進させるため、商工会議所と連携を図りながら、ワンストップサポート体制の強化を図り、必要な支援策を講じます。</u>	実施済みのため削除
チャレンジ2030	8番目	修正	少子高齢化による働き手不足の解消を図るため、 <u>外国人、学生、短時間労働者、制約はあるが働きたい方など、多様な人材</u> の受入体制の整備を進めます。	少子高齢化による働き手不足の解消を図るため、 <u>外国籍市民等などの新たな担い手として期待される労働者</u> の受入体制の整備を進めます。	社会情勢の変化に伴い、働き手不足の担い手を外国籍市民に限定するではなく、多様な人材を想定した受入体制を整備する必要があるため修正
チャレンジ2030	(旧12番目)	削除	なし	<u>店舗新設・改装支援策により必要な区域に商業集積を図ります。</u>	実施済みのため削除
関連個別計画	2番目	追加	<u>中心市街地活性化基本計画</u>	なし	新たな計画を策定したため追加

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	2-2
基本施策名	環境
中心所管課	環境課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
基本成果指標	1 番目	修正	C02総排出量 R12… 660 千t-C02	C02総排出量 R12… 976 千t-C02	国の2030年度目標値が2013年度比50%削減に修正されたため、それに合わせて目標値を修正
基本成果指標	2 番目	修正	市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 R12… 410 g	市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 R12… 450 g	既に目標値を達成しているため、上方修正
基本成果指標	注釈	修正	C02総排出量：削減する 目標C02総排出量(507千t-C02) は、一般家庭約 297,000 世帯分の1年間の消費電力量に相当。	C02総排出量：削減するC02総排出量は、一般家庭約 77,700 世帯分の1年間の消費電力量に相当。	目標値を修正したことに伴い、削減量に相当する消費電力量も変化するため修正
現状と課題	1 番目	修正	人為的な温室効果ガスの排出増加により地球温暖化が 急速 に進行し、気候変動により全国各地で災害が頻発化・激甚化しています。脱炭素社会の実現に向けて、あらゆる主体が、環境との関わりや与える影響、担うべき役割を理解し、 早急に 環境負荷低減に取り組むことが必要です。	人為的な温室効果ガスの排出増加により地球温暖化が進行し、気候変動により全国各地で災害が頻発化・激甚化しています。脱炭素社会の実現に向けて、あらゆる主体が、環境との関わりや与える影響、担うべき役割を理解し、環境負荷低減に取り組むことが必要です。	地球温暖化が急速に進行し、全国的に気候変動による被害が発生しており、環境負荷低減に早急に取り組む必要があるため、文言を追加

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	2番目	修正	ごみの有料化により、市民1人1日あたりのごみ量は大きく減少しました。市民のごみ減量意識が根付いてきましたが、 更なるごみの減量と資源化の推進のため、市民のごみ減量に対する意識を高める必要があります。	本市は、県内自治体の平均と比較しても 市民1人1日あたりのごみ量が多く、資源混入率も高い状況です。 ごみの減量と資源化の推進のため、市民のごみ問題に対する意識を高める必要があります。	令和3年度のごみ有料化以降ごみ量は大きく減少しており、令和5年度実績では県下11位となっているため、現状に合わせた表現に修正
現状と課題	3番目	修正	身近な生活環境に関して、 住民が実感できるような快適な自然環境を確保し、次の世代へ引き継いでいくことが求められています。	本市の豊かな自然と快適な暮らしを 持続させ、 次の世代へ引き継いでいくことが求められています。	より具体的な表現に修正
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策②	修正	事業所等でのCO2排出量の削減を図るため、環境に配慮した事業活動に協働して取り組むとともに、 太陽光発電設備や バイオマス発電等の再生可能エネルギーの活用に向けた取組を推進します。	事業所等でのCO2排出量の削減を図るため、環境に配慮した事業活動に協働して取り組むとともに、バイオマス発電等の再生可能エネルギーの活用に向けた取組を推進します。	事業所における再生可能エネルギーの活用手法は太陽光発電設備導入が多いため、文言を追加
グラフ、写真	単位施策1	修正	CO2総排出量 グラフ期間 R2～R6	CO2総排出量 グラフ期間 H25～H29	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策1 2～4番目	修正	脱炭素社会推進事業 地域脱炭素移行・再エネ推進事業 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助事業	再生可能エネルギー普及促進事業	再生可能エネルギー等に関連する個別事業を新設したため追加

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策③	修正	適正かつ効率的に廃棄物を処理するため、 広域ごみ処理施設や一般廃棄物最終処分場の適切な維持管理を行い、環境負荷の低減を図ります。	適正かつ効率的に廃棄物を処理するため、 廃棄物処理の広域化や一般廃棄物最終処分場の延命化を推進し、ごみ処理コストの縮減や 環境負荷の低減を図ります。	ごみ処理施設の広域化を行い、第2一般廃棄物最終処分場の工事も完了したため、適切な維持管理を行う方向性に修正
グラフ、写真	単位施策2	修正	1人1日あたりの家庭ごみの排出量 グラフ期間 R2～R6	1人1日あたりの家庭ごみの排出量 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策2 2番目	修正	リサイクルセンター施設改修事業	一般廃棄物最終処分場建設事業	一般廃棄物最終処分場の工事完了に伴い事業を削除するとともに、今後ごみ焼却棟の解体・ストックヤードを建設するため、事業を追加
リーディング事業	単位施策2 3番目	修正	再資源化事業	ごみ収集運搬事業	単位施策の内容により合致する事業に修正
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策②	修正	快適な市民生活を確保するため、ごみのポイ捨て、ペットのふん害防止の啓発活動及び地域猫活動の支援など環境美化事業を実施するとともに、 市営墓地の適正管理や合葬墓の整備など、時代の変化に対応した墓地経営に取り組み、衛生的できれいな地域環境の形成を図ります。	快適な市民生活を確保するため、ごみのポイ捨て、ペットのふん害防止の啓発活動及び地域猫活動の支援など環境美化事業を実施するとともに、 市営墓地の整備と適正な管理を実施し、衛生的できれいな地域環境の形成を図ります。	合葬墓の整備等、具体的な表現に修正
グラフ、写真	単位施策3	修正	大気や水質等に関して不安のない生活環境が確保されていると思う市民の割合 グラフ期間 R7	大気や水質等に関して不安のない生活環境が確保されていると思う市民の割合 グラフ期間 R2	グラフを最新のデータに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
リーディング事業	単位施策3	削除	なし	畜産臭気監視事業	環境保全事業に統合したため削除
リーディング事業	単位施策3 2番目	追加	墓地管理事業	なし	墓地運営は、整備（墓地施設快適化推進事業）だけでなく、管理を含め適正に推進していく必要があるため、事業を追加
リーディング事業	単位施策3 4番目	追加	合葬墓整備事業	なし	合葬墓の整備を行うため、事業を追加
グラフ、写真	単位施策3	修正	【写真】知多南部広域環境センター（ゆめくりん）	ゆめくりんイメージ図	写真を最新のものに更新
グラフ、写真	単位施策3	追加	【写真】合葬墓イメージ図	なし	個別施策②に合葬墓に関する記載を追加したため、イメージ図を追加
チャレンジ2030	1番目	修正	ゼロカーボンシティはんだビジョンに基づき、市民、事業者、行政が一体となって再生可能エネルギーの導入や省エネの徹底などに取り組み、2050年CO2排出量実質ゼロを目指します。	ゼロカーボン 戦略を策定し 、市民、事業者、行政が一体となって、CO2排出量実質ゼロ に取り組みます。	ゼロカーボンシティはんだビジョンは策定済みであり、また、同ビジョンに基づき取り組んでいくことが明確となったため、表現を修正
チャレンジ2030	2番目	修正	小中学校等の屋上や未活用公有地へ太陽光発電設備等を設置し、公共施設の再エネ100%化を目指します。	公共施設の再エネ100%化を目指します。	令和6年度環境省交付金の採択を受け、令和10年度までに計画的に太陽光発電設備を導入していくため、具体的な取組に修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	3番目	修正	リサイクルセンターや公共資源回収ステーションに加え、自治区の資源回収拠点の常設化などにより資源排出機会の拡大を図るとともに、資源化対象品目を拡大し、さらなる資源化を推進します。	集団資源回収体制の見直しや公共資源回収ステーションの常設化などにより資源排出機会の拡大を図るとともに、資源化対象品目を拡大し、さらなる資源化を推進します。	リサイクルセンターや公共資源回収ステーションに加え、公民館など自治区の資源回収拠点を常設化することで排出機会の拡大を図るため、表現を修正
チャレンジ2030	4番目	修正	フードドライブや家庭での食品ロスダイアリーの活用推進に加え、家庭や事業者の実態を把握し、効果的な食品ロス削減に取り組みます。	フードドライブや家庭での食品ロスダイアリーの活用推進により、食品ロス削減に取り組みます。	家庭や事業者へのアンケート調査で実態を把握し、効果的に食品ロス削減に取り組むため、表現を修正
チャレンジ2030	5番目	修正	矢勝川の水質改善について、主たる汚濁原因の解消に向けて、関係機関と連携して取り組みます。	矢勝川の水質汚濁の原因を特定した上で、汚濁物質の流入防止のための取組を実施します。	矢勝川の水質汚濁の主原因が特定できたため、表現を修正
チャレンジ2030	(旧6番目)	削除	なし	市営墓地について、受益者負担や無縁化対策のための管理料の徴収など、適正管理に取り組みます。	実施済みのため削除
関連個別計画	(旧3番目)	削除	なし	知多南部地域ごみ処理基本計画	計画が終了したため削除
関連個別計画	2番目	追加	ゼロカーボンシティはんだビジョン	なし	新たな計画を策定したため追加

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	3-1
基本施策名	地域福祉
中心所管課	地域福祉課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
基本成果指標	1 番目	修正	地域の福祉課題について話しあう「ふくし井戸端会議」等の参加者数	地域の福祉課題について話しあう「ふくし井戸端会議」の参加者数	計画策定時から「ふくし井戸端会議」に限らず様々な会議体を想定しているなかで、これまでは代表的な「ふくし井戸端会議」のみ記載していたが、地域福祉課題を共有する機能を持ち合わせた「多機関連携会議」や「介護予防・生活支援協議会」等も開催されているため、基本成果指標名に「等」を追加
現状と課題	3 番目	修正	団塊の世代が後期高齢者となることに加え、高齢者人口がピークを迎える時期及びその先を見据え、介護保険サービス基盤の整備、介護人材の確保、地域包括ケアシステムの充実を図ることが必要です。	団塊の世代が後期高齢者となる令和7年以降は、要介護（要支援）認定者数の大幅増加が見込まれます。地域資源を統合・活用し、高齢者等の生活を支える地域包括ケアシステムの推進を図ることが必要です。	昨今の高齢者や介護保険を取りまく情勢の変化を踏まえ、表現を修正
現状と課題	4 番目	追加	誰もが認知症になりうることを理解し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていける環境、及び認知症を地域全体で支える仕組みづくりが必要です。	なし	認知症との共生社会を目的とした基本法を踏まえ追加
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	多機関連携会議や介護予防・生活支援協議会などを通じて地域の福祉課題の共有や地域の住民主体の活動の活性化を図るとともに、地域ふれあい施設等の運営や住民同士の助けあい組織の活動を支援し、支えあいの地域づくりを促進します。	地域住民や行政・関係機関と地域の福祉課題について話しあう「ふくし井戸端会議」を継続的に開催するとともに、地域ふれあい施設等の運営や住民同士の助けあい組織の活動を支援し、支えあいの地域づくりを促進します。	「ふくし井戸端会議」のみによらない地域の福祉課題の共有化などが図られている現状を踏まえ、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策②	修正	生活困窮者自立支援、成年後見、自死対策、ひきこもり対策その他あらゆる福祉分野の相談支援の充実を図ります。また、分野の垣根を越えて、相談支援機関の連携を深め、地域で孤立している方や潜在的な困窮状態の方、複雑化・複合化した課題を抱える方などを早期に発見、支援します。	生活困窮者自立支援、成年後見、自殺対策、ひきこもり対策その他あらゆる福祉分野の相談支援の充実を図ります。また、分野の垣根を越えて、相談支援機関の連携を深め、複雑・多様な課題や不安を抱える方を早期に発見、支援します。	社会福祉法の改正や昨今の相談支援の現状を踏まえ、表現を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	「くらし相談室～あんしん半田～」自立支援件数 グラフ期間 R2～R6	「くらし相談室～あんしん半田～」自立支援件数 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策1 (旧2番目)	削除	なし	地域ふれあい施設事業	補助等を行う施設がなく、新規案件の予定もないため削除

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
リーディング事業	単位施策1 2番目	追加	重層的支援体制整備事業	なし	事業を新設したため追加
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策②	修正	高齢者の社会参加を促進し、高齢者本人や住民相互の力を引き出しながら、介護予防や生活支援を推進します。また、 認知症の方が住み慣れた地域で暮らせるよう、認知症に関する正しい知識と理解を広げるとともに、認知症の方を地域で支える人材を育成します。さらに、認知症の進行に伴い変化する本人や家族のニーズにあわせた切れ目のない支援体制を構築します。	新しい感染症の拡大防止に配慮しつつ 高齢者の社会参加を促進し、高齢者本人や住民相互の力を引き出しながら、介護予防や生活支援を推進します。また、 認知症対策の推進にあたり、 認知症の進行に伴い変化する本人や家族のニーズにあわせた切れ目のない支援体制を構築します。	・計画策定時、大きく影響していた新型コロナに関する文言は、当時ほどの影響がないため削除 ・地域での周知・学習の機会の拡大や認知症との共生社会を目的とした基本法を踏まえ、表現を修正
グラフ、写真	単位施策2	修正	高齢者数と高齢化率 グラフ期間 R2～R6	高齢者数と高齢化率 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新
グラフ、写真	単位施策3	修正	障がい者手帳所持者数 グラフ期間 R2～R6	障がい者手帳所持者数 グラフ期間 H27～R2	グラフを最新のデータに更新
チャレンジ2030	1番目	修正	社会情勢の変化等により生じる新たな福祉課題について、関係機関と連携・協力して解決の仕組みづくりを協議検討する体制を 拡充 します。	社会情勢の変化等により生じる新たな福祉課題について、関係機関と連携・協力して解決の仕組みづくりを協議検討する体制を 整備 します。	体制は整備済みであり、今後は社会情勢の変化に沿った体制に拡充していくため、文言を修正
チャレンジ2030	(旧5番目)	削除	なし	地域貢献に取り組む民間企業は、見守り、食事、買い物といった生活を支える分野に加え、外出や趣味など高齢者の社会参加に関する幅広いノウハウがあり、公的サービスが否かを問わない包括的連携に取り組むことで市民への豊富なサービス提供につなげます。	実施済みのため削除
関連個別計画	5番目	修正	健康はんだ21計画・いのち支える計画	健康はんだ21計画 自殺対策計画	計画名称を変更（統合）

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	3-2
基本施策名	健康
中心所管課	健康課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
基本成果指標	3 番目	修正	成人市民のスポーツ実施率 R12… 70%	成人市民のスポーツ実施率 R12… 65%	第3期スポーツ基本計画（令和4年3月25日文部科学大臣決定）で「成人のスポーツ実施率を週1回以上が70%程度となることを目指す」となったため、それに合わせて目標値を上方修正
現状と課題	4 番目	追加	予防接種の利便性を高めるため、予防接種事務のデジタル化が必要です。	なし	国が予防接種事務のデジタル化（PMH）を推進しており、本市においても進めていく必要があるため追加
現状と課題	5 番目	追加	新たな感染症に備え、行動計画を定期的に見直す必要があります。	なし	新たな感染症への備え、新型コロナウイルス感染症を踏まえて、国・県及び市の行動計画を定期的に見直すこととなったため追加
現状と課題	6 番目	修正	変化する社会情勢のなかで、こころの健康を保ち、うつや 自殺 を防ぐために、ストレスへの対処法や十分な睡眠・休養の確保等に関する啓発及びこれらを支える人材の育成が重要です。	変化する社会情勢のなかで、こころの健康を保ち、うつや 自殺 を防ぐために、ストレスへの対処法や十分な睡眠・休養の確保等に関する啓発及びこれらを支える人材の育成が重要です。	社会情勢の変化を踏まえ、表現を修正
現状と課題	7 番目	修正	成人市民のスポーツ実施率（週に1回以上スポーツを行う割合）は 向上しましたが、引き続き誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出や活動場所の環境整備 が必要です。	成人市民のスポーツ実施率（週に1回以上スポーツを行う割合）が 低下しています。スポーツへの関心を高めるため、スポーツに触れる機会の提供や活動場所となる施設等 の環境整備が必要です。	・成人市民のスポーツ実施率が向上しているため、表現を修正 ・今後、さらにスポーツ実施率を高めるには、現在スポーツを実施していない方など誰もがスポーツに親しむことができる機会を創出する必要があるため、表現を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	生活習慣の見直しや、「食事」「運動」などの生活行動の改善を促すため、健康づくり教室や健康相談の実施に加え、ICTを活用したセルフケアを推進するなど、市民の日常的な健康づくりを支援します。併せて、健康づくりを支える人材の育成を図ります。また、高齢者の健康課題に沿った保健事業を展開することで、健康寿命の延伸につなげます。	生活習慣の見直しや、「食事」「運動」などの生活行動の改善を促すため、健康づくり教室や、市民の日常的な健康づくりを支援するとともに、健康づくりを支える人材育成を図ります。また、高齢者の健康課題に沿った保健事業を展開することで、健康寿命の延伸につなげます。	社会情勢の変化による課題として、ICTの活用に関する記述を追加
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策③	修正	日常生活の中で感染症を予防するための習慣の定着を図ります。また、予防接種のデジタル化を推進し、予防接種法で定められた定期予防接種を確実に進めることで、感染症のまん延を予防します。	日常生活の中で感染症を予防するための習慣の定着を図ります。また、予防接種法で定められた定期予防接種を確実に進めることで、感染症のまん延を予防します。	国が予防接種事務のデジタル化（PMH）を推進しており、本市においても進めていく必要があるため追加
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策④	修正	また、うつや自殺を社会全体の問題と捉え、関係機関と連携し、未然防止につなげます。	また、うつや自殺を社会全体の問題と捉え、関係機関と連携し、未然防止につなげます。	社会情勢の変化を踏まえ、表現を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	メタボ該当者率(国民健康保険のみ) グラフ期間 R1～R5	メタボ該当者率(国民健康保険のみ) グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策①	修正	誰もが心身ともに健康でいられるよう、体力や年齢、障がいの有無、スポーツを実施する目的や場所などにとらわれることなく、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる機会の拡充を図ります。	心身ともに健康でいられるよう、子どもから高齢者、障がい者等誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる機会の拡充を図ります。	さらなるスポーツ実施率の向上を図るため、『だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも』スポーツに親しめる機会の創出、環境を整備する必要があるため、表現を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策②	修正	地域のスポーツ団体や指導者等と連携し、安定的にスポーツの機会が提供できるよう、スポーツ活動の支援を実施します。また、様々な立場から楽しんでスポーツに関わることができる環境を整備します。	競技者向けの各種スポーツ大会を開催するとともに、初心者向けスポーツ教室の充実を図ります。また、「みる」「する」「ささえる」など、様々な立場から楽しんでスポーツに関わることができる環境を整備します。	部活動改革など、スポーツの在り方が変化するなかで、競技者向けの大会や初心者向けのスポーツ教室などの枠組みにとらわれることなく、誰もがスポーツに親しめるよう、これまで以上に関係団体との連携する必要があるため、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策③	修正	誰もが安心・安全にスポーツ施設を利用することができるよう、施設の効率的・効果的な管理運営を進めるとともに、 新総合体育館など魅力ある満足度の高い施設整備 を推進します。	誰もが安心・安全にスポーツ施設を利用することができるよう、施設の効率的・効果的な管理運営を進めるとともに、 魅力ある満足度の高い施設整備 を推進します。	新総合体育館の建設に関する表現を追加
グラフ、写真	単位施策2	修正	成人 市民 のスポーツ実施率 グラフ期間 H26～R5	成人のスポーツ実施率 グラフ期間 H23～R2	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策2 1番目	修正	どこでもスポーツ推進事業	社会体育振興事業	社会体育振興事業内の関連事業をどこでもスポーツ推進事業へ移行したため修正
リーディング事業	単位施策2 3番目	追加	新総合体育館建設事業	なし	新総合体育館建設を推進する事業を新設したため追加
チャレンジ2030	3番目	修正	様々なスポーツが体験でき、誰もが楽しめる大規模なスポーツイベントを開催します。	ハーフマラソン等、新しい大規模スポーツイベントを開催します。	誰でも体験でき、楽しめるスポーツイベントを大規模に開催することで、スポーツ実施率の向上を図るため、表現を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	4 番目	修正	多目的利用可能な新総合体育館建設に向け、 <u>多様な官民連携手法を導入します。</u>	多目的利用可能な新総合体育館建設に <u>向けた整備をします。</u>	P F I手法を活用するなど、多様な官民連携手法を導入していくため、表現を修正
チャレンジ2030	5 番目	修正	スポーツ協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員との連携を <u>図り、連携する団体主催による様々なスポーツ体験会等の開催につなげます。</u>	スポーツ協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員の連携を <u>強化し、スポーツをする方の選択肢を広げるとともに、スポーツ環境の充実を図ります。</u>	行政だけではなく、関係団体もイベントを開催できるような体制を構築し、様々な機会を創出することで、スポーツ実施率の向上を図るため、表現を修正
チャレンジ2030	(旧6 番目)	削除	なし	<u>スポーツ指導者バンク事業を展開します。</u>	実施済み（愛知県が指導者バンク事業を開始）のため削除
関連個別計画	1 番目	修正	<u>健康はんだ21計画・いのち支える計画</u>	<u>健康はんだ21計画</u> <u>自殺対策計画</u>	計画名称を変更（統合）
関連個別計画	4 番目	追加	<u>新総合体育館基本計画</u>	なし	新総合体育館建設にあたって新たな計画を策定したため追加
グラフ、写真	単位施策2	修正	<u>【写真】リレーマラソンの様子</u>	<u>【写真】はんだシティマラソン</u>	写真を最新のものに更新
グラフ、写真	単位施策2	修正	<u>【写真】3×3イベントの様子</u>	<u>【写真】はんだシティマラソン</u>	写真を最新のものに更新

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	3-3
基本施策名	医療体制
中心所管課	健康課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	2 番目	修正	知多半島総合医療機構と地域の医療機関との役割分担と、各医療機関の連携強化により、高度急性期から回復期、療養期までの総合的な医療体制を構築することが必要です。	半田病院と地域の医療機関との役割分担と、各医療機関の連携強化により、高度急性期から回復期、療養期までの総合的な医療体制を構築することが必要です。	半田病院の地方独立行政法人化に伴い、文言を修正
現状と課題	3 番目	削除	なし	半田病院の医師及び看護師を安定して確保し、質の高い医療を継続して提供することが求められています。	半田病院の地方独立行政法人化により、実施主体が市ではなくなったため、項目を削除
現状と課題	4 番目	修正	災害拠点病院である知多半島総合医療センターと連携し、大規模災害時にも十分な機能を果たすことが求められています。	新半田病院を遅滞なく建設（令和7年（2025年））し、大規模災害時にも十分な機能を果たすことが求められています。	半田病院の地方独立行政法人化に伴い、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	知多半島総合医療センターと地域の医療機関との役割分担、各医療機関の連携強化を促し、休日診療等の維持とともに地域完結型の医療提供体制を整備します。また、病気の早期発見や重症化予防のため、半田市医師会、半田歯科医師会、知多薬剤師会等の協力のもと、国民健康保険及び後期高齢者医療制度における健康診査等の実施や健診結果を活用した保健指導や生活指導を行い、適切に医療受診へ結びつけるなど、市民とかかりつけ医等とのつながりを支援します。	半田市医師会、半田歯科医師会、知多薬剤師会等の協力のもと、病気の早期発見や重症化予防のため、国民健康保険及び後期高齢者医療制度における健康診査等の実施や医療機関等に関する情報提供により市民とかかりつけ医等とのつながりを支援します。また、半田病院と地域の医療機関との役割分担、各医療機関の連携強化を促し、休日夜間診療の維持とともに地域完結型の医療提供体制を整備します。さらに、新たな感染症に対応するための知多半島医療圏における体制について協議します。	半田病院の地方独立行政法人化に伴い、文言・表現を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	市内の病院・診療所数と病床数 資料：愛知県病院名簿・愛知県診療所名簿（R6）	市内の病院・診療所数と病床数 資料：愛知県病院名簿・愛知県診療所名簿（R2）	図を最新のデータに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（タイトル）	単位施策2	修正	知多半島総合医療機構	半田病院	半田病院の地方独立行政法人化に伴い、文言を修正
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策①	修正	令和7年4月1日に半田市と常滑市が設立した（地独）知多半島総合医療機構は知多半島総合医療センター、知多半島りんくう病院を運営します。今後、機構が効率的で健全な経営を図るため、市は両病院のさらなる機能分担と地域の医療機関との役割分担を進めるよう働きかけます。さらに救急医療、周産期・小児医療、がん治療を始めとした高度医療などの政策的医療に対して運営費を負担することで、急性期から回復期まで切れ目のない医療を継続的に提供します。	常滑市民病院との経営統合による機能分担を図り、地域の限られた医療資源を有効活用するとともに、救急、がん治療などの高度医療や、地域の医療機関との役割分担、連携の中心的な役割を果たします。また、地方独立行政法人化による病院運営を行い、医療制度改正にも迅速に対応するとともに、効率的で健全な経営を継続することで安定した医療サービスを提供します。	・半田病院の地方独立行政法人化に伴い、市の中期目標に基づく内容に修正 ・機構が病院運営を行う旨を記載し、運営費負担金に関する記述を追加
個別施策（タイトル）	単位施策2 個別施策②	削除	なし	新たな病院の整備	新病院の整備が完了したため削除
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策②	削除	なし	現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、最新医療機器の導入とあわせて、医療環境の変化にも対応できる拡張性の高い新病院を建設することで、安心・安全かつ快適な療養空間を提供します。また、隣接する半田運動公園と一体的に前線型SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）の機能を担い、大規模災害時にも、知多半島地域の重傷者の救命と被災地医療の負担軽減を図ります。	新病院の整備が完了したため削除
グラフ、写真	単位施策2	追加	【イメージ図】知多半島総合医療機構の組織図	なし	知多半島総合医療機構と知多半島総合医療センターの関係性が分かるイメージ図を追加
グラフ、写真	単位施策2	修正	【写真】知多半島総合医療センターのドクターカー	【写真】半田病院での診療の様子	写真を最新のものに更新
リーディング事業	単位施策2 （旧1番目）	削除	なし	半田病院運営事業	新病院の整備が完了したため削除
リーディング事業	単位施策2 （旧2番目）	削除	なし	新病院建設事業	新病院の整備が完了したため削除

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	1 番目	修正	知多半島医療圏域における医療機関等（公的及び民間病院、診療所、介護事業者等）の相互の機能分化や、人材交流、業務の連携等を推進し、地域における質の高い効率的な医療を安定的に提供します。	地域医療連携推進法人を設立することで、知多半島医療圏域における医療機関等（公的及び民間病院、診療所、介護事業者等）の相互の機能分化や、人材交流、業務の連携等を推進し、地域における質の高い効率的な医療提供体制を構築します。	地域医療連携推進法人の設立に手段を限定する必要がないため、表現を修正
関連個別計画	2 番目	追加	知多半島総合医療機構中期目標	なし	新たな計画を策定したため追加
関連個別計画	(旧2 番目)	削除	なし	半田病院（新）改革プラン	半田病院の地方独立行政法人化及び新病院の整備が完了したため削除
関連個別計画	(旧3 番目)	削除	なし	半田病院新病院建設構想	半田病院の地方独立行政法人化及び新病院の整備が完了したため削除
グラフ、写真		修正	【写真】知多半島総合医療センター	【写真】新病院イメージ画像	写真を最新のものに更新

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	4-1
基本施策名	安心・安全な社会
中心所管課	防災安全課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	4 番目	修正	本市の刑法犯罪の認知件数は 増加 傾向にあり、自転車盗や自動車関連盗などの被害も 多く 、防止策が必要です。また、特殊詐欺や悪徳商法、食品の不正表示など、消費者に係るトラブルが多種多様化しており、未然の防止と発生後の迅速で円滑な対応が必要です。	本市の刑法犯罪の認知件数は 減少 傾向にあるものの、自転車盗や自動車関連盗などの被害は 依然発生 しており、防止策が必要です。また、特殊詐欺や悪徳商法、食品の不正表示など、消費者に係るトラブルが多種多様化しており、未然の防止と発生後の迅速で円滑な対応が必要です。	刑法犯罪の認知件数の状況に合わせて、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策①	修正	防犯カメラ や防犯灯の整備などにより防犯環境の充実を図るとともに、地域における防犯活動を支援して見守りの担い手づくりを進めます。また、巧妙化する特殊詐欺を始め多様化する犯罪に備えて、講座や ホームページ 等を通じて最新の防犯情報の周知を図ります。	防犯灯の整備などにより防犯環境の充実を図るとともに、地域における防犯活動を支援して見守りの担い手づくりを進めます。また、巧妙化する特殊詐欺を始め多様化する犯罪に備えて、講座や メール 等を通じて最新の防犯情報の周知を図ります。	防犯カメラの整備を進めているため、文言を追加 また、防犯情報の周知方法を現在の内容に修正
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策②	修正	インターネット取引における詐欺 など多岐にわたる消費者トラブルの未然防止や解決支援を行うとともに、適正な計量に係る検査の継続により、消費者保護や生活の安全を図ります。	多岐にわたる消費者トラブルの未然防止や解決支援を行うとともに、適正な計量に係る検査の継続により、消費者保護や生活の安全を図ります。	昨今の社会情勢を踏まえて、文言を追加
個別施策（本文）	単位施策4 個別施策①	修正	多種多様化する災害に対応できるよう、 老朽化した消防庁舎の建替え や及び車両、装備、消防団の支援を充実させることにより、総合的な消防体制の強化を図ります。	多種多様化する災害に対応できるよう、 消防施設及び 車両、装備、消防団の支援を充実させることにより、総合的な消防体制の強化を図ります。	具体的な表現にするため、文言を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	災害に対する「家庭の備え」ができていると思う市民の割合 グラフ期間 R7	災害に対する「家庭の備え」ができていると思う市民の割合 グラフ期間 R2	グラフを最新のデータに更新
グラフ、写真	単位施策2	修正	人身事故の発生件数 グラフ期間 R2～R6	人身事故の発生件数 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
グラフ、写真	単位施策3	修正	刑法犯罪の認知件数 グラフ期間 R2~R6	刑法犯罪の認知件数 グラフ期間 H27~R1	グラフを最新のデータに更新
グラフ、写真	単位施策4	修正	【写真】A-2級ポンプを搭載した大型水槽車	【写真】CAFS（圧縮空気泡消火装置）を搭載した消防車両	写真を最新のものに更新
リーディング事業	単位施策4 2番目	修正	救急業務高度化推進事業	メディカルコントロール体制構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ・メディカルコントロール体制の構築が完了したため、事業を削除 ・指導救命士の養成など救急業務の高度化に関する事業を新設
チャレンジ2030	2番目	修正	防災DXを推進し、新たな情報伝達手段や衛星通信等を導入することで安定的且つ確実な情報の伝達手段を確保します。	防災行政無線システムの拡充・強化や、防災情報の入手が困難な世帯に対して戸別受信機や防災ラジオ等を活用し、避難情報を確実に伝達します。	災害発生時の情報収集の手段としてはインターネットやテレビ放送による情報収集が主流のため、防災DXに関する記述に修正
チャレンジ2030	(旧5番目)	削除	なし	「ながら防犯パトロール隊」や「ドラレコ隊」など普段の生活とあわせて防犯活動を行う、新たな取組を展開します。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	(旧6番目)	削除	なし	若年層に対し、未然防止と解決に向けた対策を身に付けてもらうために、高校生を対象に消費生活講座を実施します。	実施済みのため削除
チャレンジ2030	5番目 (旧7番目)	修正	消防施設の適正な配置を検討し、非常用予備発電装置を備えるなど防災機能を充実し、災害に強い活動拠点を整備・強化します。	消防施設の適正な配置を検討し、非常用予備発電装置、 自家用給油取扱所 を備えるなど防災機能を充実し、災害に強い活動拠点を整備・強化します。	自家用給油取扱所を整備しない方針となったため、文言を削除
関連個別計画	4番目	追加	上下水道耐震化計画	なし	新たな計画を策定したため追加

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	4-2
基本施策名	都市空間
中心所管課	都市計画課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
基本成果指標	4 番目	修正	路線バス等利用者数 ※2024(R6)年度以降は、路線バス等利用者数に路線バスの代わりに導入する公営タクシー制度などの交通手段の利用者数を含む	路線バス利用者数	・今後、おでかけタクシーなどの路線バス以外の交通手段を視野に入れた最適化・充実化を図っていくため、文言を修正 ・欄外に注釈を追加
現状と課題	1 番目	修正	本市は名鉄河和線とJR武豊線の2つの鉄道路線を有し、南北の交通アクセスに優れている一方で、鉄道による東西分断により、慢性的な渋滞が発生しています。	本市は名鉄河和線とJR武豊線の2つの鉄道路線を有し、南北の交通アクセスに優れています。	新たに取り組む名鉄河和線高架化の目的の一つにエリア分断の解消が挙げられるため、文章を追加
現状と課題	2 番目	修正	中心市街地周辺の活性化のため、知多半田エリア、半田駅前エリア、半田運河エリアのそれぞれの特性を活かしたまちづくりが求められます。	中心市街地周辺の活性化のため、一体的なまちづくりが求められます。	令和5年度より本格的に中心市街地活性化の取組が進むなかで、3つのエリアの特性を活かしたまちづくりを進める方針となったため、表現を修正
現状と課題	3 番目	修正	中心市街地周辺では、半田運河の醸造蔵などの歴史・文化資源を活かしたにぎわいの創出が必要です。	中心市街地周辺では、半田運河の醸造蔵やJR武豊線のSLなどの歴史・文化資源を活かした賑わいの創出が必要です。	JR武豊線のSLの活用場所が未定のため、文章から削除
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	都市機能の集積や東西交通の円滑化を図るため、JR武豊線の高架化や土地区画整理事業のさらなる推進を図るとともに、名鉄の高架化の検討を進め、快適で質の高い中心市街地を形成します。	都市機能の集積や東西交通の円滑化を図るため、JR武豊線の高架化や土地区画整理事業などを進め、快適で質の高い中心市街地を形成します。	名鉄の高架化の検討を進めていくため、文章を追加

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策②	修正	にぎわいと活気を創出するため、駅周辺での商業施設の充実や 魅力的な公共空間の整備を進めることで 、人々が回遊しやすくなる ウォークラブル な空間を形成します。また、半田運河などの歴史・文化資源を活かし、 エリア全体の魅力向上を図ります。	名鉄知多半田駅から半田運河までを一体的に利用し 、賑わいと活気を創出するため、駅周辺での商業施設の充実や 高架下空間の有効利用を図り 、人々が回遊しやすくなる 魅力ある 空間を形成します。また、半田運河や J R武豊線 の歴史・文化資源を活かし 観光振興を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より本格的に中心市街地活性化の取組が進むなかで、3つのエリアの特性を活かしたまちづくりを進める方針となったため、表現を修正 ・高架下空間に特化せず、駅前広場などの整備を含めエリア全体で賑わいと活力を創出する表現に修正 ・歴史・文化資源については、半田運河やJR武豊線以外にも存在するため、文言を修正 ・観光振興に関する記述は第2章と重複するため削除し、中心市街地全体の魅力向上を図る記述に修正
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策②	修正	地域住民が主体的に公園づくりに参加し、地域密着型の公園を整備します。また、市民、事業者、行政が連携し、子どもの遊び場、大人の憩いの場として公園・緑地の魅力を高めるとともに、 民間活力を活かした整備 を進めます。	地域住民が主体的に公園づくりに参加し、地域密着型の公園を整備します。また、市民、事業者、行政が連携し、子どもの遊び場、大人の憩いの場として公園・緑地の魅力を高めるとともに、 有効な活用 を進めます。	Park-PFI等の民間活力を活かした整備の記述を追加
リーディング事業	単位施策1	修正	J R武豊線連続立体交差化事業	J R武豊線半田駅付近連続立体交差事業	予算の事業名に修正
リーディング事業	単位施策1	追加	知多半田駅前広場改修事業	なし	駅周辺の整備に関する事業を新設したため追加
グラフ、写真	単位施策1	修正	【写真】 J R半田駅イメージ図	【写真】 J R半田駅前イメージ図	写真を最新のものに更新
チャレンジ2030	1 番目	修正	知多半田エリア、半田駅前エリア、半田運河エリアのそれぞれの特性を活かしながら、中心市街地の活性化を図るため、公と民が連携した組織づくりを促進します。	名鉄知多半田駅、J R半田駅、半田運河のそれぞれの特性を活かしながら一体的な利用を図るため、中心市街地の核となる民間活力を導入します。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より本格的に中心市街地活性化の取組が進むなかで、3つのエリアの特性を活かしたまちづくりを進める方針となったため、表現を修正 ・手法について、計画策定時の民間主導から公民連携の方針となったため、表現を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	(旧3番目)	削除	なし	<u>企業を対象に空き家を活用したサテライトオフィス等を誘致します。</u>	ニーズ調査の結果、サテライトオフィスの需要がないことが確認できたため削除
チャレンジ2030	(旧4番目)	削除	なし	<u>名鉄河和線の立体交差化に向けた協議を進めます。</u>	今名鉄高架化の検討に取り組んでいくため削除（個別施策に記載）
チャレンジ2030	(旧5番目)	削除	なし	<u>地域と合意形成を図りながら、新たな景観形成重点地区を追加します。</u>	実施済みのため削除
関連個別計画	8番目	修正	<u>地域公共交通計画</u>	<u>地域公共交通網形成計画</u>	計画を変更したため名称を修正
関連個別計画	9番目	追加	<u>中心市街地活性化基本計画</u>	なし	新たな計画を策定したため追加

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	4-3
基本施策名	都市基盤
中心所管課	土木課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
グラフ、写真	単位施策1	修正	【写真】慢性的に渋滞が生じている衣浦大橋	【写真】JR武豊線を跨ぐ環状線	写真を最新のものに更新
グラフ、写真	単位施策2	修正	給水人口と給水量	給水人口と給水量	グラフを最新のデータに更新
リーディング事業	単位施策2 1番目	修正	水道 運営基盤強化事業	運営基盤強化事業	事業名称を最新の名称に修正
リーディング事業	単位施策2 2番目	修正	水道 安定供給事業	安定供給事業	事業名称を最新の名称に修正
リーディング事業	単位施策2 3番目	削除	なし	水道施設維持修繕事業	事業が完了したため削除
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策①	修正	下水道施設の適正な維持管理や計画的な改築・更新を行い、ライフサイクルコストの低減や事業の平準化に取り組むとともに、適正な使用料金の見直しや民間委託の拡大、他市町との広域連携の推進を行い、経営基盤の強化を図ります。	下水道施設の適正な維持管理や計画的な改築・更新を行い、ライフサイクルコストの低減や事業の平準化に取り組むとともに、適正な使用料金の見直しを行い、経営基盤の強化を図ります。	単位施策2水道と表現を統一するため修正
グラフ、写真	単位施策3	修正	【写真】下水道工事の様子	【写真】半田市のマンホール	写真を最新のものに更新
グラフ、写真	単位施策4	修正	【写真】衣浦みなとまつり花火大会	【写真】帆船 海王丸	写真を最新のものに更新

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	5-1
基本施策名	協働
中心所管課	市民協働課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	1 番目	修正	デジタルデバイスの普及により多様化した情報発信のツールを有効的に活用し、 市政に関する情報、市民生活や市民活動に関する情報を伝えるように届けることが重要です。	市政に関する情報、市民生活や市民活動に関する情報を伝えるように届けることが重要です。	昨今の社会情勢を踏まえて文言を追加
現状と課題	2 番目	修正	未来を担う若い世代をはじめ、幅広い世代の 市民の意見を市政に反映する仕組みを強化することが必要です。	市民の意見を市政に反映する仕組みを強化することが必要です。	将来の社会の形成者である若者の意見を取り入れることが重要なため、文言を追加
現状と課題	5 番目	修正	人口減少等の影響により コミュニティ活動の担い手不足が懸念されるため、新たな担い手の確保とともに、効率的かつ効果的な運用ができるよう、持続可能な組織の強化・再編が必要です。	コミュニティ活動の担い手不足が懸念されるため、新たな担い手の確保とともに、効率的かつ効果的な運用ができるよう、持続可能な組織の強化・再編が必要です。	昨今の社会情勢を踏まえて文言を追加
現状と課題	6 番目	修正	市民活動の持続性を高めるため、団体間の協働を促進するとともに、幅広い世代が参加しやすい環境づくりや世代間連携の強化が求められています。	市民活動の担い手として期待される若い世代の活躍の場を広げることが必要です。	若い世代のみならず、幅広い世代の参加や、市民活動ができる環境の整備が重要なため、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策 1 個別施策①	修正	また、 市民、市民活動団体、事業者など多様な主体と連携しながら、 市の魅力を市内外に広く発信するシティプロモーションを推進し、都市イメージの向上とまちへの愛着醸成を図ります。	また、市の魅力を市内外に広く発信するシティプロモーションを推進し、都市イメージの向上とまちへの愛着醸成を図ります。	行政による発信だけでは情報が行き届かない現状を踏まえ、文言を追加

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策②	修正	市民の意見をより一層市政へ反映させるため、計画等を策定する初期段階における意見の聴取や、幅広い市民の合意形成を図る市民討議会の実施に加え、若者の発想や視点を取り入れる広聴手法を導入することで広聴事業の充実を図ります。	市民の意見をより一層市政へ反映させるため、計画等を策定する初期段階における意見の聴取や、幅広い市民の合意形成を図る市民討議会など広聴手法の充実を図るとともに、職員が地域に出向き、市民との対話から地域課題を把握するなど主体的な広聴活動に取り組みます。	職員が地域に出向く広聴手法は廃止したため削除し、若者の意見を取り入れる広聴手法を充実する記載に修正
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策③	修正	また、地域課題の解決のために、市民、自治区・コミュニティ、市民活動団体、事業者、教育機関など多様な主体との連携により、パートナーシップの一層の強化を図ります。	また、地域課題の解決のために、市民、自治区・コミュニティ、市民活動団体、事業者、高等学校や大学などとの連携により、パートナーシップの一層の強化を図ります。	高等学校や大学に限らず、幼稚園・保育園・小中学校等も含めた幅広い主体との連携が必要であるため、文言を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	【写真】市民討議会の様子	【写真】市民会議	写真を最新のものに更新
リーディング事業	単位施策1 1番目	修正	広報事業	広報推進事業	予算事業名に合わせて修正
リーディング事業	単位施策1 3番目	追加	市民討議会運営事業	なし	事業を新設したため追加
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策①	修正	多様・多世代の住民による協議の場を設けながら、既存の自治区や地域コミュニティ活動を補完する小学校区コミュニティを構築し、地域のまちづくりを支える中心的な組織となるよう地域と取り組みます。また、住民同士が連携して活動・交流できる地域共創センターの整備を推進します。	効率的かつ効果的な活動が持続できる小学校区を基本単位とする小学校区コミュニティを構築し、地域のまちづくりを支える中心的な組織となるよう地域と取り組みます。また、小学校や公民館などを活用した地域の拠点づくりを進めます。さらに、各地区の特性を考慮しつつ、自治区が小学校区コミュニティとともに活動できるよう支援します。	多様・多世代の住民の参加を重視するとともに、地域共創センターの整備を進める表現に修正
グラフ、写真	単位施策2	修正	【写真】多様・多世代の住民による協議の様子（地域のみらいミーティング）	【写真】住民による地域整備	写真を最新のものに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
リーディング事業	単位施策2 2番目	追加	地域共創センター運営事業	なし	事業を新設したため追加
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策①	修正	自立的かつ持続可能な市民活動を推進するため、市民活動助成金等により活動団体を支援するとともに、市民・学校・事業者が活動に参加しやすい仕組みを構築し、世代間や分野間の協働を促進します。	持続可能な市民活動を展開するため、市民活動助成金等により活動団体を支援するとともに、市民・学校・事業者が気兼ねなく活動に参加できる仕組みを構築します。	自立的かつ持続的な活動を推進するためには、団体間協働や世代間の連携が必要なため、表現を修正
個別施策（本文）	単位施策3 個別施策②	修正	活動団体への助言や団体間連携を促進するため、はんだまちづくりひろばの役割であるコーディネート機能の充実を図ります。	市民活動を市民目線で支援する組織体制を構築し、はんだまちづくりひろばの役割である中間支援機能の強化を図ります。	中間支援機能は市が実施することとなったため削除し、コーディネート機能の向上を図るため、表現を修正
グラフ、写真	単位施策3	修正	はんだまちづくりひろば登録団体数 NPO登録団体数 グラフ期間 R2～R6	はんだまちづくりひろば登録団体数 NPO登録団体数 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新
グラフ、写真		追加	【写真】成岩地域共創センターのイメージ図	なし	成岩地域共創センターが新設されるため追加
チャレンジ2030	2番目	修正	若者のアイデアを取り入れる新たな仕組みを構築します。	市民の意見を聴く新たな仕組みとして、市民討議会を開催します。	・市民討議会は実施済みであるため削除 ・持続可能な社会を築くために重要である若者のアイデアを取り入れるため、表現を修正
チャレンジ2030	4番目	修正	小学校区単位のコミュニティ組織が運営を担う地域の拠点整備を行います。	小学校区コミュニティ、市民活動団体等の活動拠点づくりを行います。	小学校区コミュニティ等の活動拠点づくりに合わせて、地域での拠点の管理運営を図るため、表現を修正

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	5 番目	修正	コミュニティ、市民活動団体等が <u>活発に活動できるよう、企業との連携を目指すとともに、自主財源確保に向けた多様な手段の活用を支援します。</u>	コミュニティ、市民活動団体等が <u>自主的に財源を確保できるよう、企業スポンサー制度、寄附、クラウドファンディング等を活用した仕組みを構築します。</u>	企業を含めた多様な主体との連携が必要なため、表現を修正
チャレンジ2030	6 番目	修正	<u>若い世代が主体的に市民活動に関わり、地域課題の解決や社会貢献に参加できる仕組みづくりを行います。</u>	<u>若者が興味のあるセミナーを実施することにより、若い世代の市民活動への参加を増やします。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーは実施済みのため削除 ・若者が主体的に関わる機会を提供するため、表現を修正
関連個別計画	(旧 1 番目)	削除	なし	<u>市民協働推進計画</u>	計画が終了したため削除
関連個別計画	1 番目	追加	<u>市民チャレンジ協働プラン</u>	なし	新たな計画を策定したため追加

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	5-2
基本施策名	共生社会
中心所管課	市民協働課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
現状と課題	2 番目	修正	外国籍市民等の日本語を学ぶ機会を充実させ、生活に必要な情報の提供ができるよう、各ライフステージに応じた適切な支援が必要です。	外国籍市民等の日本語を学ぶ機会を充実させるとともに、ごみの出し方など生活に必要な情報の提供が必要です。	各ライフステージに応じた支援に関する表現に修正
現状と課題	4 番目	修正	家庭、学校、職場、地域社会において、男女の役割を固定的にとらえる意識の解消を図っていくことが必要です。	家庭、学校、職場、地域社会において、性別を理由とした社会的な差別意識の解消を図っていくことが必要です。	性の多様性と区別するため、表現を修正
現状と課題	5 番目	追加	性の多様性を理解し、尊重することにより、誰もが自分らしく生きられる社会に向けた意識啓発が必要です。	なし	性の多様性など、性別にとらわれない意識づくりが課題であるため、追加
現状と課題	6 番目	修正	ワーク・ライフ・バランスを実現するために、多様な働き方に対応し、個性と能力を發揮できる環境づくりが求められています。	ワーク・ライフ・バランスを実現するために、働き方改革が求められています。	働き手と職場環境づくりの課題を統合し、修正
現状と課題	(旧 6 番目)	削除	なし	働きたいと望む誰もが、職場において個性と能力を發揮できる環境づくりが求められています。	
個別施策 (本文)	単位施策 1 個別施策②	修正	地域や学校等において外国籍市民等が日本語を学ぶ機会を充実させるとともに、日本の生活習慣、就労、行政サービス、災害など必要な情報を分かりやすく提供することで、地域社会で安心して生活ができるよう支援します。	外国籍市民等が日本語を学ぶ機会を充実させるとともに、日本の生活習慣、就労、行政サービス、災害など必要な情報を分かりやすく提供することで、地域社会で安心して生活ができるよう支援します。	外国籍児童も含んだ表現とするため修正
グラフ、写真	単位施策 1	修正	外国籍市民の内訳 グラフ期間 R1	外国籍市民の内訳 グラフ期間 R2	グラフを最新のデータに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策2 個別施策①	修正	家庭、学校、職場、地域社会において、一人ひとりの個性と能力を発揮できる社会が形成されるよう、性別で分けすぎでない慣習的な役割分担の見直しなど社会的性差の解消や、 <u>性的少数者への理解の促進など、性別にとらわれず多様な価値観が尊重されるような意識啓発を行います。</u>	家庭、学校、職場、地域社会において、一人ひとりの個性と能力を発揮できる社会が形成されるよう、性別で分けすぎでない慣習的な役割分担の見直しなど社会的性差の解消を図ります。 <u>また、性別にかかわらず誰もが家事・子育て・介護など家庭生活へ積極的に参加するよう意識啓発を図ります。</u>	既存の社会的性差の解消だけでなく、性的少数者等の理解促進の必要性が高まったため、表現を修正
グラフ、写真	単位施策2	修正	これから男女ともに働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 グラフ期間 R7	これから男女ともに働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 グラフ期間 R2	グラフを最新のデータに更新
関連個別計画	2番目	修正	<u>みんなが輝くチャレンジプラン（男女共同参画推進計画）</u>	<u>男女共同参画推進計画</u>	計画名称を変更
グラフ、写真		修正	<u>【写真】</u> こんにちわーどフェスティバルの様子	<u>【写真】</u> こんにちわーどフェスティバル	写真を最新のものに更新

総合計画改訂 新旧対照表

施策コード	5-3
基本施策名	行財政
中心所管課	企画課

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
成果指標	1 番目	修正	70	50	既に目標値を達成しているため、上方修正
現状と課題	1 番目	修正	<p>人口減少や少子高齢化、働き方の多様化など社会情勢が変化するなか、限られた行政経営資源で多様化・拡大化する行政需要に的確に対応するため、行政サービスの提供方法を見直す必要があります。また、老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大も見込まれており、長期的かつ安定的な財源の確保・費用対効果や成果に着目した事務事業の見直しが必要です。</p>	<p>将来的に人口減少が確実視されるなか、限られた行政経営資源の中で多様化・拡大化する行政需要に的確に対応し、活力に満ちた地域社会を形成していくためには、より効率的で効果的な行政運営に向けた変革が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少以外の社会情勢の変化も踏まえた内容に修正 ・先を見据えて行政サービスそのものを見直すことの必要性に関する記述を追加 ・旧③の内容と重複する部分があるため、統合し修正
現状と課題	(旧3 番目)	削除	なし	<p>今後は少子高齢社会の進行や老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大が見込まれており、長期的かつ安定的な財源の確保・費用対効果や成果に着目した事務事業の見直しが必要です。</p>	

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策①	修正	人口減少社会の中でも質の高い行政運営の持続性を確保するため、 ICTやAI等のデジタル技術を活用したデータ分析や事務作業の効率化を図るとともに、DXを推進するなかで、行政手続きのオンライン化を進め、「行かない窓口」を拡充するなど、市民の利便性を向上させます。また、窓口業務の効率化を図るとともに、各事業の特性に合わせ、効果的で専門的な知識や経験を持つ民間の力を活用し、市民サービスの向上や地域課題の解決に努めます。	人口減少社会の中でも質の高い行政運営の持続性を確保するため、行政手続のオンライン化を始めとするICTの活用、 AIやRPAを用いた事務作業の自動化などを進め、また事業毎の特性に応じた有効な民間活力を導入することにより、市民サービスの向上と行政の効率化を図ります。	昨今の社会情勢に合わせ、DXに関する記述を追加
個別施策（本文）	単位施策1 個別施策④	修正	また、 他市町村との連携を深め 、大規模災害への備えとして迅速かつ円滑な相互支援体制を確保します。	また、 ゆかりのある市町村との災害時応援協定の締結を推進し 、大規模災害への備えとして迅速かつ円滑な相互支援体制を確保します。	新たに災害時応援協定を締結するのみではなく、既に協定を締結している市町村との連携を深めるため、表現を修正
グラフ、写真	単位施策1	修正	【写真】 市民課窓口の様子	【写真】 市民課窓口	写真を最新のものに更新
リーディング事業	単位施策1 1番目	追加	DX推進事業	なし	DXの推進に関する事業を新設したため追加
リーディング事業	単位施策1 2番目	修正	情報システム 最適化 事業	情報システム 関連 事業	予算事業名に合わせて修正
グラフ、写真	単位施策2	修正	一般会計 歳出と市税収入決算額 グラフ期間 R2～R6	一般会計 歳出と市税収入決算額 グラフ期間 H27～R1	グラフを最新のデータに更新

修正箇所			修正内容		修正理由
大項目	詳細場所・名称	種別	新	旧	
チャレンジ2030	5 番目	追加	革新的な技術やアイデアを持つスタートアップ企業等との連携を通じ、行政業務の高度化や市民サービスの質向上に資するサービスを実装します。	なし	利便性の向上や業務効率化の推進が課題である。ここで目指すDX（地域DX）は、行政内部の改革（自治体DX）の域を超え、地域全体の課題解決や価値創造を目指す取組である。DXを地域にまで拡大するためには、民間との連携が不可欠と考えるため。
関連個別計画	(旧 1 番目)	削除	なし	人口ビジョン	まち・ひと・しごと創生総合戦略に統合するため削除
関連個別計画	4 番目	追加	DX推進計画	なし	新たな計画を策定したため追加